

児童発達支援「キッズすてっぷわかば」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和4年12月12日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか 活動のエリア分けを行い、スペースを最大限活用し対応していく。
	2	職員の配置数は適切であるか 基準を満たす配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか トイレには踏み台を設置し、児童発達支援のお子様でも安全に利用できるように工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか 空間に合った活動内容を工夫しながら取り組んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか それぞれの意見をまとめてスタッフ全員が同じ目標を持ち業務改善に努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか 保護者様に頂いた意見を共有し、利用児さんに対してより充実した支援が行えるように努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか 保護者様向け及び、自己評価の集計結果をホームページでの公表と事業所内への掲示を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 機会があれば評価を受け業務改善につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか 外部講師による研修や、社内にて実施する研修へ参加し、療育の資質向上へ努めている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか スタッフ全員が目を通し、客観的に分析し、課題を整理したうえで計画に反映させている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 保護者様や相談支援員様からの聞き取りを十分に行い、発達センターからの診療情報提供書等を参考にし、支援に繋げている。

適切な支援提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	家族支援、地域支援についても、お子様が健やかな暮らしと育ちを実現できるよう、児童発達支援のガイドラインを元に支援計画の作成を心掛けている。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	保護者様やスタッフ、誰もがわかりやすく作成するよう心掛け、計画に沿った支援がスムーズに行えるようにしている。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	スタッフ全員でミーティングをし、立案を行っている。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	新しい活動や支援を取り入れ、利用者様の目標達成、成功体験となるようにプログラムを考えている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	日々の状況や利用者様の特性や性格に合わせ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるよう計画に繁栄させている。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援前に、職員各自の役割をミーティングにてしっかりと把握したうえで支援に備えている。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後や、翌日のミーティングにおいて、各スタッフの気付きを共有し、次回以降の利用者様の支援に備えている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	会議等で支援の見直しを行い、スタッフ間で検証・改善に努めている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年毎のモニタリング及び個別支援計画の立案を行い、更新時期以外にも必要に応じて担当者会議等を要請し、計画の見直しを行っている。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者と補佐が出席している。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	関係機関と連携を取り継続して支援を行っている。

関係機関や保護者との連携

23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	現在医療的なケアが必要な利用者様のご利用はありませんが、受入れが必要な際には連携し、支援を行っていく。
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	現在医療的ケアが必要な利用児様はいらっしゃいませんが、必要な際は関係機関との情報共有を図り体制を整えていく。
25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	保育園や幼稚園などの先生方とは送迎時やお電話等で情報の共有・交換を行っており、継続して児童さんの相互理解を行っている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	小学校、特別支援学校の担任の先生方と支援内容や課題の情報共有と相互理解を行っている。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	事業所のスタッフ間で判断が難しい場合や、児童の対応で困った際は、助言を頂き、必要の際は担当者会議等にも同席して頂くなど連携を行っている。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナ禍により難しい状況ですが、機会があれば行っていきたい。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	こども福祉協議会等に参加をし、実施される研修などに積極的に参加している。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳、送迎の応対時や電話などのやり取りを通じ、ご家族と共にお子様の成長を共感し状況の相互理解や課題の把握に努めている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	保護者様からの相談により幅広く対応できるよう、ペアレントトレーニングについてスタッフ間で学び、保護者様への支援も充実させていく。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明を行っていますが、必要な際は随時説明を行っている。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	保護者様への説明はその都度行っているが、わかり易く説明できていると思わず、より丁寧に説明していけるように心掛けていく。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必要に応じ、電話や直接の相談を行い、事業所だけでの相談に留まらない場合は適切な機関と連携を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	新型コロナウイルスの感染のリスクを踏まえ、安全が確保できる状態になった際には企画し、ご家族同士での交流の機会を提供していく。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	相談申し入れがあった場合には職員間で迅速に情報を共有し体制を整え対応していく。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ブログの掲載や会報の作成を行い、活動の様子や必要な情報の提供、お子様の成長を共有できるように努めていく。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	誓約を厳守し今後も個人情報の取り扱いに注意していく。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	特性やご家族の状況に応じて適切な意思の疎通や情報の伝達出来る様努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	交流の機会、また事業所を地域に知ってもらえるよう現在は新型コロナ感染の状況を踏まえ実施できていないが、状況を見て検討していく。	
	非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	緊急時や感染症が起こった際の対応を保護者様に周知し、年間計画に沿って発生を想定した訓練を行っている。
		42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難場所の確認や避難の為の訓練を定期的に行っている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	アセスメント時に確認し、対応方法を周知し保護者様やお子様安心して通える環境を確保していく。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメント時にアレルギー等確認し、必要に応じて医師の意見書などの書類も写しを頂いて保管している。	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット事例集は現在はないが、事例が発生した際には職員間で話し合い記録を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年間計画に研修の機会を設け、実施し、適切な対応ができるようにしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	身体拘束に関しても法人に設置された委員会からの情報や研修を元に適切な対応を行っている。